

平成30年度事業報告

社会福祉法人岡山子ども協会

1 法人をとりまく社会状況

社会福祉法人制度改革により、社会福祉法人は非営利法人としてふさわしいガバナンスと高い透明性を備え、主体性をもった自律的な法人経営に取り組み、地域のさまざまな生活・福祉課題に積極的対応をすることが求められています。他方、地域共生社会の実現に向けた議論が進められる中で、社会福祉法人がその中核的な担い手として地域の中で主導的な役割を果たさなければなりません。

少子化と言われ始めてからかなりの年月が経ちます。出生数が死亡数を下回る「自然減」は12年連続で、年々過去最大の減少幅を記録しています。厚生労働省の発表では、平成29年の「自然減」は、42万4千人で、前年より9万3千人の減少になります。平成29年の出生数は統計の残る1899年以降で最少の94万6,065人(前年比約3万913人減)となっています。婚姻は前年(平成27年)より1万3,665組減って戦後最少の60万6,866組となり、離婚は21万2,262組で2022年をピークに減少傾向(前年比4,536組減)です。また、20~30代の女性の人口も減少している現状を踏まえると少子化に歯止めをかけることはできそうにもありません。晩婚化・晩産化傾向も続いています。

また、待機児童の問題が続いています。保育の需要もおよそ5年後をピークに減少の方向に向かうとも言われていますが、潜在的なニーズの問題もありこの現象は当分の間続きそうです。

一方、児童虐待、こどもの貧困、片親家庭の増加、地域での孤立、スマートフォン依存など、こどもや家庭を取り巻く現状は困難な課題が多く見られています。特に児童虐待の件数は、平成29年度の速報値で13万3,778件となり、前年比1万1,203件増加しています。ここ5年は10%以上の増加率となっており、喫緊の課題として社会全体で改善に向けて取り組む必要があるように思われます。

人口減少に伴い、日本全体で人材不足が深刻な問題となっています。厚生労働省の統計では、平成29年度末の保育士数は、年間約7.4万人が不足していることが明らかになっています。保育士資格を取得したとしても、実際に保育園に就職するのは約半数であり、また、実際に保育士として働いたとしても半数が平均勤続年数5年未満と、早期離職の傾向も顕著です。保育士就職を希望しない理由として、「責任の重さ・事故への不安」「保護者との関係が難しい」「教育・研修体制への不満」が挙げられています。再就職希望の保育士の挙げている課題として、「賃金が希望と合わない」「自身の健康・体力への不安」「休暇が取りにくい」があります。地方から都市部へ保育士が流出する傾向も増加しており、早急な対応を求められています。

2 国の保育園施策とその方向

当初の予定より前倒しで、平成30年度より内閣府主導で「子育て安心プラン」が開始しました。子育て安心プランでは、「待機児童の解消」「5年間で「M字カーブ」を解消」を目的として、平成32(令和2)年度末までに全国の待機児童の解消、女性就業率80%を目標としています。また、子育て安心プランの軸となる6つの支援パッケージは次のとおりです。

- ①保育の受け皿の拡大
- ②保育の受け皿拡大を支える「人材確保」
- ③保護者への「寄り添う支援」の普及促進
- ④保育の受け皿拡大と車の両輪の「保育の質の確保」
- ⑤持続可能な保育制度の確立

⑥保育と連携した「働き方改革」

今年10月に予定されている消費税増税及び幼児教育・保育無償化（3～5歳）を合わせて、どのような影響が出てくるのかを注視していく必要があります。

3 保育園事業・障がい児通所支援事業・放課後児童健全育成事業・子育て支援事業の運営概要

平成30年度は、保育園4か所、認定こども園1か所、障がい児通所支援施設・事業所4か所、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）6か所、子育て支援センター2か所を運営いたしました。その運営にあたっては経営会議を中心に各種委員会などを定期的に行き、各事業の運営、合同の研修・行事等について調整を図り、実施しました。

保育園事業については、地域のニーズに対応するため、赤磐市と協議しながら進めました。年度途中の入園希望が相次いだものの、保育士の確保が難しく、需要に応えられていません。保育士等の確保を重要課題と位置づけ、新たな方策を検討していきます。

障がい児通所支援事業は、幼児対象の「あかいわ児童発達支援センター もみじの家」「保育所等訪問支援 てつなぎ」と小学生以上対象の「放課後等デイサービス こぶしの家」、地域生活支援事業として「日中一時支援 かりんの家」を運営しました。放課後等デイサービスは、3年に一度の制度改正に伴い、報酬が大幅に見直され、非常に厳しい経営状況となりました。保護者や利用児のニーズを把握し、療育内容及び環境の改善に努めていき、地域における中核施設となれるよう、自治体や幼稚園・保育園、他の事業所と連携をとりながら運営していきます。

放課後児童健全育成事業については、「アンドロメダクラブ」「スバルクラブ」「カシオペアクラブ」「オリオンクラブ」「たいようクラブ」「ぎんがクラブ」の6クラブの運営を行ないました。クラブ利用希望者も年々増加しています。適正な運営を実施するために、定員を遵守し、環境の整備・改善を進めます。

子育て支援事業については、積極的に地域に出かけることを念頭に進めてまいりました。ホームページの活用、子育て相談専用の電話の広報等も進めていきます。今までの活動を継続しつつも定期的に見直しを図りながら、保育園を知っていただき気軽に利用していただくことが今後の園運営にとっても重要であると捉えています。

(1) 職員の状況

平成30年度の採用試験等で、保育士は正規職員として8名、栄養士は正規職員として1名、事務員は非正規職員として1名、調理員は非正規職員として1名を採用しました。また、非正規職員であった保育士1名、調理員1名を、平成31年4月から正規職員として採用することとしました。

平成31年（令和元年）度当初の職員数は、次のとおりです。

事業名	施設長	副施設長	保育士等	調理員	指導員	看護師	事務員	保育補助員等	合計
あすなる保育園	1	0	23(2)	5(1)	0	1	5(1)	7(7)	42(11)
さくらが丘保育園	1	0	18(2)	4(2)	0	1	1	7(7)	32(11)
とよた保育園	1	0	12(2)	3(2)	0	0	1(1)	3(3)	20(8)
さくらんぼ保育園	1	0	14(2)	3(2)	0	1	1(1)	5(5)	25(10)
いちろうの森こども園	1	0	14(1)	3(2)	0	1	1	4(4)	24(7)
もみじの家	1[1]	1[1]	9(1)[1]	2(1)	0	0	0	0	13(2)[3]
こぶしの家	1[1]	0	7(2)[4]	0	0	0	0	0	8(2)[5]
かりんの家	1[1]	0	4(2)[4]	0	0	0	0	0	5(2)[5]

てつなぎ	1[1]	1[1]	1[1]	0	0	0	0	0	3[3]
わたぼうし	1[1]	0	1[1]	0	0	0	0	0	2[2]
あんずの家	1[1]	0	4[1]	0	0	0	0	0	5[2]
あすなろこどもセンター	1[1]	0	2	0	8(6)	0	0	10(10)	21(16)[1]
さくらが丘こどもセンター	1[1]	0	3(1)	0	3(2)	0	0	6(6)	13(9)[1]
あすなろ子育て支援センター	1[1]	0	3(3)	0	0	0	0	0	4(3)[1]
さくらが丘子育て支援センター	1[1]	0	3(3)	0	0	0	0	0	4(3)[1]
合 計	15[10]	2[2]	118(21)[12]	20(10)	11(8)	4	9(3)	42(42)	221(81)[24]

*主任・副主任は保育士に含む。また、調理員に栄養士を含む。

*職員数には、産休及び育休中職員を含む。

*保育士等とは、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、児童指導員等の有資格者をいう。

* () 内はうち非常勤職員数（1日6時間未満、1週30時間未満、週5日以下勤務）

* [] 内はうち兼務職員数

(2) 職員の労務・給与

職員の労働時間は週40時間。保育園・こども園は、勤務開始時間は午前7時、終了時間は3園が午後7時、他の2園は午後8時とし、時差勤務としています。また、障がい児通所支援事業所は、勤務開始時間は午前8時、終了時間は午後6時とし、時差勤務としています。放課後児童健全育成事業は、勤務開始時間は午前9時、終了時間は午後7時とし、時差勤務としています。年間総労働時間は、260日・2080時間とし、日曜日・国民の祝日及び年末年始の休日・祝日を除き、年間33日の休日を実施しました。

給与については、就業規則、給与・退職金規程に従って適用しました。また、人事院の勧告に伴い、賃金改善は給与で行い、処遇改善費は手当及び賞与として支給しました。なお、賞与については評価制度を導入しています。人事評価制度に基づいて、昇給・昇格を決定しました。

職務分担は、年度当初に作成し、クラス運営、給食調理、事務等の分担のほかに運動会・発表会等の年間行事、定例行事、環境・保健・広報・写真・図書等の職務について話し合いにより決定しています。

各種会議・PJ・委員会の開催状況は、次のとおりです。

ア 各種会議・PJ・委員会

会 議 名	出席者及び人数	開催回数	検 討 項 目
経営会議	理事長・常務理事・施設長等 12名	年間16回	各事業の運営・財政・行事等 検討
保育園・こども 園運営会議	施設長・主任等	年間6回	保育研修・保育内容の検討等
評価調整会議	理事長・常務理事・施設長等 10名	年間2回	賞与評価の調整等
昇給昇格調整会 議	理事長・常務理事・施設長等 10名	年間1回	昇給昇格評価の調整等
人事会議	理事長・常務理事・施設長等 10名	年間1回	職員異動及び配置についての 検討等
安全管理委員会	施設長・職員7名	年間4回	危機管理マニュアルに準じた 安全計画の推進

衛生推進委員会	施設長・職員 7 名	年間 4 回	感染症対策、環境衛生他
給食委員会	施設長・職員 10 名	年間 9 回	給食及び食育内容の検討
人材確保 P J	施設長・職員 3 名	年間 2 回	年間を通じて人材確保への取組他
教育・保育・療育推進委員会	施設長・職員 4 名	年間 3 回	研究保育・実践記録の推進等
40 周年記念事業委員会	施設長・職員 4 名	年間 4 回	法人設立 40 周年記念事業の検討
職員互助会運営委員会	施設長・職員 6 名	年間 3 回	互助会運営委員会の開催
虐待防止啓発委員会	施設長・職員 6 名	年間 2 回	虐待防止対応マニュアルの策定
あすなろ全面改築 P J	施設長 2 名・職員 2 名	年間 5 回	あすなろ保育園等の図面の検討等
研修部会議	施設長・職員 3 名	年間 4 回	職員研修の内容検討
広報部会議	施設長・職員 8 名	年間 5 回	地域向け広報紙等の検討

イ その他の会議

① 施設等合同の会議

- ・こどもセンタースタッフ会議
- ・子育て支援センター会議
- ・事務担当者会議
- ・根っこの広場合同研修会議 等

② 各施設単位の会議

- ・職員会議
- ・3 歳以上児 3 歳未満児連絡会議
- ・くろまめ会議（各保育園打合せ会議） 等

(3) 職員の福利厚生

福利厚生事業として、正規職員は、岡山県民間保育所職員退職金共済制度と福祉医療機構の退職金制度に加入しています。また、正規職員を除く月給制職員、非正規フルタイム職員及びパートタイム職員の内 6 時間以上勤務の職員は福祉医療機構の退職金制度に加入しています。なお、パートタイム職員の内 6 時間未満勤務の職員は、法人のパートタイム職員退職金制度に加入しています。職員互助会は法人独自の事業として理事・施設長・職員代表で運営委員会を構成し運営しています。週 5 日 20 時間以上の職員加入としています。

また、リフレッシュ休暇制度を導入し、採用後 5 年間以上継続して勤務している職員に、5 年経過するごとに 5 日間の特別休暇を与えています。職員会に対しては、職員の親睦を深める活動に補助を行い、平成 30 年度はスポーツ大会及び親睦会を実施しました。

職員の健康管理として、全職員に労働安全衛生法に基づくレントゲン検診・内科検診を実施し、給食調理職員については毎月の検便検査、年齢 40 歳以上の職員の生活習慣病検診を行なっています。

(4) 財政の運営

貸借対照表で見ると、資産総額 2,051,839 千円、負債総額 212,219 千円で、差引純資産は 1,839,620 千円となりました。前年度より純資産 83,012 千円の増加となりま

した。

資金収支による収入では本部・6施設・2事業所・6クラブの当年度実質収入は871,767千円(拠点区分間等収入・積立資産取崩収入を除く)で、主たるものは保育事業収入684,975千円(78.6%)、放課後児童健全育成事業収入66,383千円(7.6%)、障がい福祉サービス事業収入88,795千円(10.2%)、経常経費寄附金収入3,902千円(0.4%)、受取利息配当金収入4,369千円(0.5%)、その他収入(給食費・雑収入等)23,343千円(2.7%)となっています。

支出は当年度実質支出748,858千円(拠点区分間等支出・積立資産支出・資金残高取崩分を除く)。そのうち人件費支出629,114千円(*72.2%)、事業費支出57,031千円(*6.5%)、事務費支出22,155千円(*2.5%)、支払利息支出582千円(*0.07%)、その他の支出16,097千円(*1.8%)、借入金元金償還支出3,856千円、固定資産取得支出20,023千円となっています。当年度資金収支差額は27,865千円となりました。

財政全体で見ると、当年度は、事業活動収入が増加しているものの、人件費支出の比率が高くなってきています。これは、処遇改善等加算に伴い、処遇改善手当及び一時金で支給していることが影響しています。保育園等を運営している社会福祉法人の経営指標で、健全な経営の目安となっている人件費率75%を超過しないように経営を進めていながら、財産及び積立金等を精査し、剰余金を社会福祉充実計画等に投資していきます。

※事業活動収入に対する比率

事業活動資金収支の推移

単位(千円)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)	
収入の部	保育事業収入	510,674	87.2	551,213	83.2	578,926	82.3	656,639	77.8	684,975	78.6
	放課後児童健全育成事業収入	34,172	5.8	56,169	8.5	55,629	7.9	75,128	8.9	66,383	7.6
	障害福祉サービス等事業収入	24,874	4.2	34,363	5.2	41,744	5.9	82,608	9.8	88,795	10.2
	経常経費寄附金収入	2,080	0.4	1,238	0.2	1,195	0.2	3,288	0.4	3,902	0.4
	受取利息配当金収入	4,547	0.8	5,002	0.8	4,586	0.7	4,369	0.5	4,369	0.5
	その他の収入	9,486	1.6	14,310	2.2	21,239	3.1	21,466	2.5	23,343	2.7
	合計	585,833		662,295		703,619		843,498		871,767	
支出の部	人件費支出	391,916	66.9	399,887	60.4	466,961	66.4	586,794	69.6	629,114	72.2
	事業費支出	42,301	7.2	49,379	7.5	60,242	8.6	59,063	7.0	57,031	6.5
	事務費支出	16,175	2.8	17,286	2.6	21,574	3.1	30,560	3.6	22,155	2.5
	支払利息支出	384	0.07	320	0.05	257	0.04	592	0.07	582	0.07
	その他支出	9,206	1.6	9,630	1.5	10,875	1.5	13,395	1.6	16,097	1.8
	流動資産の評価損等による資金減少額	0	0	0	0	63	0.01	0	0	140	0.02
	合計	459,982		476,502		559,909		690,404		724,979	

※事業活動収入に対する比率

※四捨五入の処理により、端数が一致しない場合あり

(5) 平成30年度人件費積立金、施設整備等積立金の状況

単位 (千円)

	平成 29 年度 末 積立金	平成 30 年度 積立金 (施設整備積立)	平成 30 年度 積立金取崩	平成 30 年度 末 積立金合計	平成 30 年度 末 減価償却累計額
あすなる	266,050	12,000	0	278,050	181,660
さくらが丘	180,850	22,000	0	202,850	138,942
とよた	106,700	11,000	0	117,700	110,177
さくらんぼ	135,800	19,000	0	154,800	111,795
いちろうの森	8,000	22,000	0	30,000	18,369
もみじの家	0	0	0	0	11,823
こぶしの家	5,000	0	0	5,000	24,939
あすなる こどもセンター	5,232	0	2,132	3,100	17,226
さくらが丘 こどもセンター	4,000	988	0	4,988	3,691
合 計	711,632	86,988	2,132	796,488	618,637

※四捨五入の処理により、端数が一致しない場合あり

(6) 重点課題の評価

◎…達成した、○…ほぼ達成した、△…やや達成できていない、×…ほとんど達成できていない

I. 利用者に対する基本姿勢

項 目	評価
1 児童処遇…保育・療育者の直接的な働きかけ ○自らを認め、育つことのできる場の提供 ・子ども自身が、自らの存在を認められるような保育・療育等を行います。 ・子どもが主体的に生活や遊びを展開できる場を提供します。	△
2 利用者の権利擁護 ○権利擁護 ・児童の人権の尊重と最善の利益の確保に努めます。 ・利用者及びその家族の人権に十分配慮し、一人ひとりの人格を尊重したサービスを提供します。 ・児童の人権擁護・虐待防止に向けて、保護者とともに取り組みます。 ・利用者の権利擁護について、職員が認識を深めるよう虐待防止及び人権教育等の取り組みを実施します。	△
3 家族支援 ○子育て支援 ・子育ての孤独感や悩みを話し合える場を積極的に提供します。 ・思いを受け止めながら保護者支援を行い、親としての育ちを支えます。 ○専門事業の役割 ・障がい福祉事業での療育等の情報及び具体的な支援について家庭や保育園等に提供します。	△ ○
4 環境整備	

<p>○空間環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの利用者にとって、生活の場にふさわしい快適で安全な環境を提供します。 環境の整備を定期的に行い、子ども自ら関わる環境づくりを行います。 <p>○施設及び設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の内装・外装設備の修繕及び各種機器の耐用年数に応じた整備計画を策定し、実施します。 	△
<p>5 多様なサービスの充実</p> <p>○新規事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい児者福祉事業、学童対象事業等、地域社会から必要とされる福祉事業について検討し、必要に応じて実施します。 新規事業を行う建物及び土地の確保等を行います。 	○
<p>6 サービスの質の向上</p> <p>○教育・保育・療育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 提供するサービスについて第三者評価を受審し、結果について精査し、サービス向上に向けて取り組みます。 <p>○安全管理、苦情解決及び虐待解決の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会を設置し、虐待防止に努めます。 	○

II. 社会に対する基本姿勢

項 目	評価
<p>7 地域における公益的な取り組み</p> <p>○貧困等の課題を抱える家庭への積極的なアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> 低所得者に配慮をしたこどもの居場所づくりや学力支援等を行います。 	△

III. 福祉人材に対する基本姿勢

項 目	評価
<p>9 人材育成</p> <p>○管理職及び監督職職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理職及び監督職の育成制度を確立し、次世代を担う職員を積極的に育てます。 管理職及び監督職の職務の見直しを図り、職員の事業運営への参画意識を高めます。 	△
<p>10 継続して働きやすい環境の整備</p> <p>○職員への処遇</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の仕事上の悩みを相談できるような組織内における職員関係を作ります。 	△
<p>11 人材確保</p> <p>○障がい者・高齢者の雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者及び高齢者雇用に必要な支援体制を構築します。 	△

IV. マネジメントに対する基本姿勢

項 目	評価
12 コンプライアンス（法令遵守）の徹底	△

○規程及びマニュアルの整備 ・コンプライアンス規程に基づき、マニュアルを策定し、定期的に見直します。	
13 財務規律の確立 ○中期事業計画に基づく資金計画及び積立金の実施 ・中期事業計画及び財務計画に基づき資金計画を作成します。	○

(7) 施設合同の園内研修及び県外研修等の実施状況

ア 法人内研修（職員全員対象）

研修内容	実施月日	対 象	講 師 名
職員研修Ⅰ 「みんなの学校」映画上映会と講演会	H30. 6. 16	全職員	木村泰子先生 大阪市立大空小学校初代校長
法人研修Ⅱ 「子どもの全面発達」を保障する 保育園づくり	H30. 10. 27	全職員	加藤雅美先生 (福)新瑞福祉会 たんぽぽ保育園園長
年度末研修	H31. 3. 17	全職員	

イ 法人内研修（職員対象）

研修内容	実施月日	対 象	講 師 名
新任研修	H30. 3. 31, 4. 1, 4. 6	1年目職員	理事長・施設長・主任等
管理・監督者研修	H30. 5. 31, 6. 1, 6. 5	新施設長及び主任等	常務理事等
フォローアップ研修	H30. 10. 27	1年目職員	理事長・施設長・主任等
フォローアップ研修	H30. 10. 27	2年目職員	同上
管理者研修	H30. 11. 29 ～12. 1	施設長	理事長・常務理事
中堅職員研修	H30. 12. 1	中堅職員	理事長・施設長・主任等
事務担当者会議（研修）	年3回	事務職員	常務理事及び本部事務職員

ウ 県外研修

研 修 名	開催日	場 所	参 加 者
第61回全国私立保育園研究大会	H30. 6. 4～5	名古屋	平尾文香(丘)、西菜々恵(ぼ)、高橋ひとみ(い)
人間力を高める研修Ⅰ	H30. 6. 29～7. 4	北海道 礼文島他	理事長、平中(い)、山本(あ)、岩竹(と)、武知(丘こ)
子ども・子育て支援事業セミナー	H30. 12. 12	大阪	齊藤歩(と)
第33回全国保育所給食セミナー	H30. 12. 22～23	高松	宮本睦子(あ)、橋本若菜(丘)、石原知佳(ぼ)
第44回保育総合研修会	H31. 1. 23～25	神戸	岩津希(あ)、中西沙由里(丘)

保育施設長研修会	H31. 1. 23～25	大阪	齊藤歩（と）
初任保育所長等研修会	H31. 1. 23～25	大阪	大田原智美（ぼ）
初任主任保育士研修	H31. 2. 4～6	東京	角田真理（ぼ）
中堅保育士研修会	H31. 2. 19～21	東京	宮岡徳子（あ）
中堅主任保育士等研修会	H31. 2. 26～28	大阪	久保朋子（丘）

※あ→あすなろ、丘→さくらが丘、と→とよた、ぼ→さくらんぼ、い→いちよの森、も→もみじの家、こ→こぶしの家、
あこ→あすなろこどもセンター、丘こ→さくらが丘こどもセンター、支→支援センター（以下同じ）

エ 海外研修

研 修 名	開催日	場 所	参 加 者
カンボジア孤児院交流&アンコールワット5日間	H31. 1. 10～14	カンボジア	西尾亜矢子（も）、富田梨花（あ）

オ 自主研修（新任職員を対象、旅費の一部補助）

研 修 名	開催日	場 所	参 加 者
1からわかる社会福祉法人会計の基礎実務コース	H30. 7. 11～12	大阪	小林真依子（あ）
第28回全国病児保育研究大会	H30. 7. 15	香川	平田芽生（ぼ）
0. 1. 2歳児の表現活動入門セミナー	H30. 7. 26	大阪	森崎友里恵（あ）
ことばの育ちを支援する評価法と多様な側面への理解と支援	H30. 7. 27	東京	田村奈美（も）
幼児のことばあそびの会	H30. 7. 30～31	大阪	榎本滯（丘）
サマースクール中国大会	H30. 8. 1～2	岡山	河本真里（丘）、朝倉満里奈（丘）
サマースクール2018京都大会	H30. 8. 9～10	京都	田切弥祐伽（丘）
サマースクール	H30. 8. 17～18	大阪	岡本ゆい（あ）

カ 研究会

研究会名	人数	回数	講 師	内 容
自然科学あそび	9名	5回	平松茂先生 環太平洋大学	自然を生かしたあそびの研究・実践等
わらべ唄あそび	10名	5回	湯澤美紀先生他3名 ノートルダム清心女子大学	わらべ唄あそびの実践等
発達障がいについて理解を深める①	8名	5回	中西仁志先生 旭川荘厚生専門学院	自閉症スペクトラム障害の理解等
運動あそび	9名	5回	飯田智行先生 就実大学	運動遊びの理解と実践等
人間工学から見たこどもの安全	7名	5回	田口豊郁先生 川崎医療福祉大学	人間工学と安全管理の理解等
発達障がいについて理解を深める②	9名	5回	小田桐早苗先生 川崎医療福祉大学	発達障がいの理解とアセスメントの実践等

キ その他

保育園・こども園 5 施設合同研究保育 年 6 回

(8) 施設環境の整備等

ア 主な建物（建物附属設備）・土地・構築物の取得

施設名	建設工事名等	金額（円）	取得年月日	業者名
あすなろ 保育園	駐車場整備	3,423,600	H30.10.10	(株) 東本建設
	土地取得	4,000,000	H31.2.5	山田憲一氏所有
	土地取得	6,300,000	H31.2.20	齊藤忠志氏所有
あすなろこどもセンター スバル	そらのやかた玄関整備	3,762,000	H31.3.20	(有)長宗工務店

イ 主な修繕（10万円以上）

施設名	建設工事名等	金額（円）	取得年月日	業者名
さくらんぼ 保育園	物置	258,218	H31.3.11	(株) タイム
あすなろこどもセンター オリオン	靴箱、壁修繕	738,000	H31.3.20	(有) 長宗工務店

ウ 主な器具及び備品の購入（10万円以上）

施設名	器具及び備品名	金額（円）	取得年月日	業者名
あすなろ 保育園	冷却機能付給茶機	1,047,600	H30.10.10	(株) 創研厨房
いちよの森 こども園	ミニプルー式	269,827	H30.7.10	ひかりのくに (株)
	AED一式	211,464	H30.10.10	(株) ワコーインターナショナル
	ポータブルアンプ一式	227,188	H31.2.12	光伸電器
あすなろこどもセンター カシオペア	デスクトップパソコン	198,000	H31.3.29	エディオン山陽店
	ノートパソコン 2台	230,000	H31.3.29	エディオン山陽店
さくらが丘こどもセンター ぎんが	OKI カラー複合機	337,500	H30.6.10	(有) 大熨商店

エ 財産処分について

施設名	処分物品名・規格	数量	購入金額（円）	購入年月日	現在価格（円）	廃棄年月日
あすなろ 保育園	冷却機能付給茶機	1	968,100	H16.3.31	1	H31.3.31
	フードプロセッサ	1	141,750	H10.3.31	1	H31.3.31
さくらが丘 保育園	冷却機能付給湯機	1	992,250	H16.3.10	1	H30.10.31
	ビデオプロジェクター	1	458,850	H14.3.10	1	H30.10.31
	印刷機	1	393,750	H20.11.10	1	H31.1.25
とよた保育園	電話機	1	206,850	H14.3.19	1	H30.12.6
	デジタルビデオ	1	182,700	H14.3.31	1	H31.3.26

	カメラ					
	手洗い台	1	273,000	H12.3.10	1	H31.3.26
さくらんぼ 保育園	物置	1	303,072	H13.3.31	16,988	H31.3.30

4 保育・療育事業等の実施

(1) 保育園・こども園事業

- ア あすなる保育園の設置運営 園長 坪井 幸子
赤磐市桜が丘西3-14-19 定員 200名
- イ さくらが丘保育園の設置運営 園長 高原 泉
赤磐市桜が丘東6-6-704 定員 150名
- ウ とよた保育園の設置運営 園長 齊藤 歩
赤磐市松木549 定員 70名
- エ さくらんぼ保育園の設置運営 園長 大田原 智美
赤磐市桜が丘東2-2-809 定員 80名
- オ 幼保連携型認定こども園いちょうの森こども園の設置運営 園長 松本 清美
赤磐市桜が丘東3-3-496 定員 90名

(2) 障がい児通所支援事業

- ア あかいわ児童発達支援センター もみじの家の設置運営 所長 花房 由美
赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 20名
- イ 保育所等訪問支援事業 てつなぎ 所長 花房 由美
赤磐市桜が丘西10-2-16
- ウ 放課後等デイサービス こぶしの家の設置運営 所長 齊藤 忠志
赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 20名

(3) 地域生活支援事業

- ア 日中一時支援事業 かりんの家 所長 池田 裕樹
赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 15名

(4) 放課後児童健全育成事業の実施

- ア あすなるこどもセンターの設置運営 所長 杉井 康志
- ・アンドロメダクラブ・スバルクラブ・カシオペアクラブ・オリオンクラブの運営
定員各40名
 - ・学力サポート事業「ひらめき」実施
 - ・「キッズくらぶ」「あそぼうでえ」事業実施
 - ・くらしサポート事業「ひのきカフェ」実施
- イ さくらが丘こどもセンターの設置運営 所長 杉井 康志
- ・たいようクラブ・ぎんがクラブの運営 定員各40名
 - ・学力サポート事業「まなびや」実施
 - ・「将棋クラブ」事業実施
 - ・くらしサポート事業「さんカフェ」実施
- ウ とよた保育園
- ・「たいこクラブ」「おおぞらクラブ」事業実施

- エ さくらんぼ保育園
 - ・「野外楽しみ隊」事業実施

(4) 子育て支援拠点事業の実施

- ア あすなろ子育て支援センターの設置運営
赤磐市桜が丘西3-14-19 所長 大崎 久美子
- イ さくらが丘子育て支援センターの設置運営
赤磐市桜が丘東6-6-704 所長 大崎 久美子

(5) 施設合同事業の実施

ア そら組（5歳児）キャンプの実施

国立吉備青少年自然の家において、平成30年9月5日～7日（2泊3日）にさくらが丘・とよた・さくらんぼの3園の児童と一緒に、平成30年9月12日～14日にあすなろ・いちょうの森の2園の児童が、キャンプファイヤー、ハイキング、飯ごう炊さんなどをしました。

イ ほし組（4歳児）お泊り保育

岡山県青少年教育センター閑谷学校において、平成30年11月7日～8日（1泊2日）にさくらが丘・さくらんぼ2園の児童と一緒に、平成30年11月8日～9日（1泊2日）にあすなろ・とよた・いちょうの森3園の児童が行ないました。自然の中でハイキングや野外遊びを行い、親元を離れての生活を経験しました。

ウ 熊山登山の実施

5歳児そら組児童親子を対象に、「からだを育てる」事業の一環として熊山登山を行ないました。参加したすべての子どもたちが自力で頂上まで登りました。

平成30年10月26日にさくらが丘・とよた・さくらんぼの3園合同、平成30年11月2日にあすなろ・いちょうの森の2園合同で実施しました。

エ 卒園旅行の実施

平成31年3月7日に全園合同で神戸市王子動物園に行きました。

オ 第39回なかよしキャンプ等の実施

平成30年8月16～18日（2泊3日）に鳥取県立船上山少年自然の家で、自然体験活動及び飯盒炊飯等を実施しました。

5 苦情処理制度の普及と対応

年度当初、保護者に対して苦情対応制度の説明と第三者委員等対応担当者の名簿を配布しています。保護者及び地域から出された苦情については苦情解決責任者（各施設長）で解決できたものも含めて、第三者委員会に報告し、指導助言をいただきました。

第三者委員は、弁護士1名及び赤磐市内民生児童委員経験者等の2名を委嘱し、2回（9月、3月）苦情解決第三者委員会を開催いたしました。第三者委員への通告を求める苦情申し出はありませんでしたが、報告・指導助言をいただいた件数は17件です。苦情内容は下表のとおりです。

なお、第三者委員への通告はなかったため、苦情内容の公表はしていません。

(1) 苦情件数

	あすなろ	さくらが丘	とよた	さくらんぼ	いちょうの森	もみじの家	こぶしの家	こどもセンター	支援センター	合計
苦情件数	3	3	1	2	2	0	2	2	2	17

(2) 苦情内容

	あすなろ	さくらが丘	とよた	さくらんぼ	いちょうの森	もみじの家	こぶしの家	こどもセンター	支援センター	合計

説明情報不足					2			2		4
職員の対応	2	2	1	2	2		2	1	2	14
職員の言葉態度	1				2			1	1	5
保育内容					1			1		2
こどものトラブル	1									1
設備環境								1		1
権利侵害		1								1
その他		1								1
合計	4	4	1	2	7	0	2	6	3	29

※苦情内容は重複していることがあり、件数と一致しない場合があります。

6 個人情報の適切な管理

個人情報の秘匿義務については、職員に個人情報誓約書の提出を求め、年度末研修会及び職員会議等で周知徹底を図っています。

7 地域への情報公開の推進

(1) 情報公開パンフレットの作成・配布

法人及び各施設の事業について、その事業内容及び財政状況に関するパンフレットを作成し、保護者、関係機関、その他地域に1,000部配布しました。

また、運営状況、財務状況については、各施設事務室の閲覧しやすい場所に常に公表開示すると共にホームページでも公開しています。

(2) 顧問会計士・顧問弁護士・社会保険労務士の委嘱

顧問会計士については、丸川税理事務所と顧問契約を締結し、財政状況、経理内容について指導、監督を毎月1回受けました。また、顧問弁護士として、太陽綜合法律事務所と顧問契約を行い、法人・各施設に関わる苦情等の事案について相談助言を受けました。平成29年度より田中社会保険労務士事務所と顧問契約し、労務に関する手続きを委託しました。

8 借入金の償還

独立行政法人福祉医療機構に対し、平成30年度分借入金元金及び利息の償還を行いました。

なお、償還金は、該当する拠点・サービス区分会計により処理しました。

(1) とよた保育園（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金（利息0%分）

元金 780,000円

借入金残高 5,460,000円

イ 償還金（利息1.5%分）

元金 1,710,000円

利息 205,200円

借入金残高 11,970,000円

（注）とよた保育園園舎改築借入金総額は5千万円ですが、うち1,570万円は老朽園舎改築分として利息負担がありません。

平成30年度償還金合計 2,695,200円

内訳	元金	2,490,000円	
	利息	205,200円	
	借入金残高合計	17,430,000円	

(2) いちよりの森こども園（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金

元金	780,000円	
利息	274,594円	(利率 0.55%分)
借入金残高	49,220,000円	
平成30年度償還金合計	1,054,594円	

(3) もみじの家（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金

元金	586,000円	
利息	101,884円	(利率 0.34%分)
借入金残高	29,414,000円	
平成30年度償還金合計	687,884円	

9 理事会の開催

(1) 第200回 平成30年6月9日 あすなろ保育園

出席理事 7名（欠席理事 0名）

議案 平成29年度事業報告、平成29年度決算報告、監査報告、給与・退職金規程の改定、一時預かり事業の休止、福祉充実計画、あすなろ保育園等の施設整備、保育所等訪問支援事業、平成30年度第1次補正予算こども・子育て支援事業運営委員の選任、理事長・常務理事の職務執行状況の報告等

(2) 第201回 平成30年9月29日 あすなろ保育園

出席理事 6名（欠席理事 1名）

議案 保育所訪問支援つなぎ運営規程の廃止、もみじの家運営規程の改定、経理規程の改定、給与・退職金規程の改定、一時預かり事業の休止、平成30年度第2次補正予算、理事長及び常務理事の職務執行状況の報告等

(3) 第202回 平成30年12月15日 あすなろ保育園

出席理事 7名（欠席理事 0名）

議案 給与・退職金規程及び賞与支給規程の改定、経理規程の改定、障がい児通所支援センター根っこの広場各施設運営規程の改定、あすなろ保育園駐車場用の土地の取得、とよた保育園病児保育事業の実施、平成30年度第3次補正予算、第66回評議員会の開催、平成30年度事業経過報告、理事長及び常務理事の職務執行状況、平成30年度社会福祉法人及び社会福祉施設等指導監査結果等

(4) 第203回 平成31年1月26日 さくらが丘保育園

出席理事 7名（欠席理事 0）

議案 あかいわ児童発達支援センター（障害児通所支援）運営規程、相談支援事業の開始及び運営規程、放課後等デイサービスあんずの家の開設及び

運営規程、あすなろ保育園駐車場用の土地の取得、第66回評議員会の開催等

- (5) 第204回 平成31年3月9日 あすなろ保育園
出席理事 7名(欠席理事 0)
議案 就業規則等の改廃、給与・退職金規程及び賞与支給規程の改定、経理規程の改定、いちょうの森こども園管理・運営規程の改定、こどもセンター管理・運営規程の改定、平成30年度第4次補正予算、平成31(2019)年度事業計画、平成31(2019)年度当初予算、県指導監査・実地指導の結果、保護者による施設評価アンケートの結果、平成31(2019)年度職員採用結果、理事長・常務理事の職務執行状況等

10 評議員会の開催

- (1) 第64回 平成30年4月17日
書面にて提案 評議員9名全員より同意書を受理
議案 定款の変更及び変更認可申請事務
- (2) 第65回 平成30年6月24日 さくらが丘保育園
出席評議員 9名(欠席評議員 0名)
議案 平成29年度事業報告、平成29年度決算報告、監査報告、定款の変更及び変更認可申請事務、社会福祉充実計画、あすなろ保育園の施設整備、保育所等訪問支援事業等
- (3) 第66回 平成31年2月16日 さくらが丘保育園
出席評議員 7名(欠席評議員 2名)
議案 定款の変更及び変更認可申請事務、障がい児通所支援事業等の運営、平成31年度各施設等の利用申し込み状況、平成31年度事業計画等

11 法人・保育園監査の実施

- (1) 監事監査 平成30年5月28日 いちょうの森こども園
出席監事 2名
監査内容 法人・保育園・こぶしの家・子育て支援センター・こどもセンターの平成29年度運営及び財務

(2) 岡山県指導監査

ア 保育園・認定こども園

平成30年 8月22日 とよた保育園
8月31日 さくらんぼ保育園
9月11日 さくらが丘保育園
9月20日 いちょうの森こども園
10月 1日 あすなろ保育園

監査担当者 岡山県備前県民局保健福祉部職員

監査内容 平成29年度及び平成30年度各施設の運営状況

*指導監査結果について

文書指導 なし

口頭指導

- ・あすなる保育園 0件
- ・さくらが丘保育園 1件
- ・とよた保育園 3件
- ・さくらんぼ保育園 0件
- ・いちょうの森こども園 2件

イ 障がい児通所支援事業

平成30年9月4日 もみじの家

監査担当者 岡山県備前県民局健康福祉部職員

監査内容 平成29年度及び平成30年度施設の運営状況

*指導監査結果について

文書指導 0件

口頭指導 0件

(3) 県実地指導

平成30年12月7日 こぶしの家

指導担当者 岡山県備前県民局健康福祉部職員

指導内容 平成29年度及び平成30年度施設の運営状況

*指導結果について

文書指導 0件

口頭指導 0件

(4) 赤磐市指導監査

平成30年11月19日

監査担当者 赤磐市保健福祉部子育て支援課職員

監査内容 平成29年度及び平成30年度法人の運営状況

*指導監査結果について

文書指導 なし

口頭指導 2件

(5) 月例経理監査

丸川税理士事務所により、毎月1回経理監査と経理指導を受けた。

(6) 内部監査

法人監事、理事長及び常務理事2名により、施設の運営状況及び経理状況について各施設単位に実施した。

上期内部監査

平成30年 7月 3日 とよた保育園、さくらが丘保育園

7月 4日 こぶしの家、もみじの家

7月12日 こどもセンター、あすなる保育園

7月19日 いちょうの森こども園、さくらんぼ保育園

下期内部監査

平成30年11月12日 こぶしの家、もみじの家さくらが丘保育園、とよた保育園

11月13日 とよた保育園、さくらが丘保育園

11月15日 いちょうの森こども園、さくらんぼ保育園

11月21日 こどもセンター、あすなる保育園

12 こども・子育て支援事業運営委員会の開催

第13回 平成30年6月6日 さくらが丘保育園

出席運営委員 11名（欠席委員 1名）

議案 こども・子育て支援事業運営委員の補充、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画、社会福祉充実計画等

第14回 平成30年10月25日 あすなろ保育園

出席運営委員 10名（欠席委員 2名）

議案 平成30年度事業経過、あすなろ保育園等の全面改築等

第15回 平成31年2月5日 さくらが丘保育園

出席運営委員 10名（欠席委員 2名）

議案 平成31（2019）年度保育園・こども園等利用申し込み状況、平成31（2019）年度新規事業等

13 第三者委員会の開催

第1回 平成30年9月26日 さくらが丘保育園

出席委員 3名（欠席委員 0名）

議案 平成30年度上半期苦情解決の状況等

第3回 平成31年3月14日 さくらが丘保育園

出席委員 3名（欠席委員 0名）

議案 平成30年度下半期苦情解決の状況、児童への指導の対応等

14 職員採用試験実施状況

（1）就職説明会の開催

第1回 平成30年6月16日（土）あすなろ保育園 参加者10名

第2回 平成30年9月29日（土）あすなろ保育園 参加者4名

（2）採用試験の実施

第1回 平成30年8月5日（日）あすなろ保育園

受験者5名 うち正規採用2名、非正規採用1名（辞退）

第2回 平成30年10月28日（日）あすなろ保育園

受験者6名 うち正規採用6名

第3回 平成30年11月18日（日）あすなろ保育園

受験者なし

第4回 平成31年1月26日（土）あすなろ保育園

受験者3名 うち正規採用1名、非正規採用2名

正規職員任用試験（非正規職員として就労している職員対象）

平成31年1月26日（土）あすなろ保育園

受験者2名 うち正規採用2名